

❖❖❖❖❖❖❖ 日本獣医師会学会だより ❖❖❖❖❖❖❖

日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会

----- 日本獣医師会学会からのお知らせ -----

☆平成21年度日本獣医師会学会年次大会（宮崎）盛會に終わる

平成21年度日本獣医師会学会年次大会（宮崎）は、平成22年1月29日（金）から31日（日）の3日間、宮崎県獣医師会の共催、九州地区獣医師会連合会の協力により、宮崎市・ワールドコンベンションセンターサミットにおいて開催され、全国から獣医師や獣医学系大学の学生をはじめ動物看護職等関係者約2,500名が参加した他、一般市民公開シンポジウムは地元宮崎市民を中心に約900名の参加者を得て、成功裏に終了した。

学会の各プログラムでは、多くの会場において満員となるなど連日好評を博したが、特に文部科学省科学研究費補助金の補助を得て開催した「世界的な乳牛繁殖効率低下の原因と対策に関する国際シンポジウム」や市民公開プログラムとして開催した「動物のインフルエンザの新展開」、「ペットから人にうつる病気」、「獣医師が守る食の安全」、「動物たちが運ぶ幸せ…～アニマルセラピー・学校飼育動物・野生動物・動物福祉を考える～」 「ヤマネコの保護、野生動物対策の取り組み」では、海外からの聴講者や地元市民を含む多数の参加者が重要なテーマに真剣に耳を傾けた。

また、本年次大会では昨年度に引き続き(社)日本獣医学会の企画協力をいただき、合同シンポジウム「鶏におけるサルモネラ、カンピロバクターの疫学と対策」及び「牛白血病の現状—その克服を目指して」を開催し、ともに多くの聴講者を得て大変好評であった。

さらに、大会2日目には歓迎懇親パーティーが大会会場において盛大に執り行われた。パーティーでは、山根義久日本獣医師会会長から主催者挨拶が行われ、続いて、河野俊嗣宮崎県副知事、津村重光宮崎市長から祝辞をいただいた後、本年次大会の共催であり歓迎懇親パーティー主催の宮崎県獣医師会の江藤文夫会長から挨拶が行われた。

このほか、会期中には学会合同理事会、学会合同定期総会、各学会理事懇談会等も開催された他、学会合同定期総会の場において学会長賞・獣医学術賞の発表と授与が行われ、日本獣医師会会長から受賞者の代表者に賞の授与が行われた。（受賞者等については本誌第63巻第3号の151頁に掲載）。

なお、平成22年度の学会年次大会は、岐阜県獣医師会の共催、中部獣医師会連合会の協力により、平成23年2月11日（金・祝）～13日（日）の3日間、岐阜県岐阜市の長良川国際会議場及び岐阜都ホテルにおいて開催予定である。

【学会合同理事会の開催】

学会年次大会会期中の1月30日、学会会則等に基づいて学会合同理事会が開催され、次のすべての議案事項が異議なく承認された。

- 第1号議案：平成20年度事業及び収支決算報告の件
- 第2号議案：平成21年度事業中間報告及び会員の入会の件
- 第3号議案：平成22年度会費及びその徴収方法の件
- 第4号議案：平成22年度事業計画及び収支予算の件
- 第5号議案：平成21年度日本獣医師会学会合同定期総会に付議する事項

【学会合同定期総会の開催】

学会年次大会会期中の1月30日、学会会則等に基づいて学会合同定期総会が開催され、次のすべての議案事項が異議なく承認された。

- 第1号議案：平成20年度事業及び収支決算報告の件
- 第2号議案：平成21年度事業中間報告及び会員の入会の件
- 第3号議案：平成22年度会費及びその徴収方法の件
- 第4号議案：平成22年度事業計画及び収支予算の件
- 第5号議案：日本獣医師会学会役員を選任の件